

セミパラチンスク核実験開始57周年・核実験終結15周年記念式典へ参加
～セミパラチンスクから長崎への第1回インターネット中継～



長崎会場の参加者



黙 禱



メッセージを送る医学部生（右）



メッセージを送る高校生

8月29日（火）、旧ソ連の核実験場があったカザフスタン共和国セミパラチンスク市のセミパラチンスク診断センターで「セミパラチンスク核実験開始57周年・核実験終結15周年記念式典」が執り行われました。式典会場と大学院医歯薬学総合研究科附属原爆後障害医療研究施設をインターネットで接続し、式典の様を生中継するとともに、本学会場からも関根施設長、河野医学部長、朝長医歯薬学総合研究科長、長崎・ヒバクシャ医療国際協力会（NASHIM）の井石哲哉会長、医学部学生代表、高校生1万人署名活動に取り組んでいる高校生らがインターネットを通じセミパラチンスクへメッセージを送るなど関係者約30人が参加し、被ばく者医療や核兵器廃絶に引き続き協力していくことを確認し、犠牲者に黙禱を捧げました。

本学は、核実験場周辺で被曝した被災者住民の検診、診断を行っているセミパラチンスク診断センターとは医療協力体制を構築、隣接するセミパラチンスク医科大学とは学術交流協定を締結するなど、深い協力関係にあります。

なお、本年8月9日（水）には、医学部記念講堂で執り行われた「原爆犠牲者慰霊祭」の様子がインターネットで同診断センターへ生中継されました。

（医歯薬学総合研究科学術協力課）